

# KONTECHS TIMES

COMPANY NEWSLETTER 株式会社コンテックス

社長の呟き



遅い昼食ー

カロリーが気になるので、  
 HALF量のオーダーで♪



**ニュースレター限定 社長コラム**

## 『データ取りから垣間見る企業文化』

代表取締役 近藤 千奈美

先日、自社のデータ取りを熱心に行っているある企業様のお話を聞く機会がありました。たとえば、スピード対応を会社の重点行動とした場合、何をもってスピード対応というのか。そして、どのぐらいの時間がスピード対応の範囲となるのか？

この企業様では、スピード対応とは『お客様からのお問い合わせから1時間以内に電話を掛けること』をスピード対応と定義し、さらにすべてのお問い合わせに対して実際の時間数はどのぐらいかを計測し、リアルタイムでその対応時間をBI(ビジネスインテリジェンス)で見える化していました。

いやー、すごいです。なにがすごいと思ったのか？

### 1. スピード対応を定義している

→計測するには基準が必要

### 2. すべてのお問い合わせの時間を数値化・見える化している

→行動をデータで客観化し、BIで表示する仕組みにまで落とし込んでいる

### 3. 会社方針として全社員が共有し、アクションしている

→データを収集する大切さを理解し計測を全社でアクションしている

1と2は、カづくでやれば何とか形作ることにはできると思います。極論、社長一人で作ってもよいわけですから。

3はそうはいきません。社員全員の理解と協力、そして実際の行動がなければできないのです。

3は企業全体で丁寧かつ意識的に長い時間かけて作ってきた文化。

「ローマは一日にしてならず」です。

業績が長く、成長し続けている企業は、この文化の【質】が極めて高い。形をパクることはできても、その根っこである文化を簡単にパクることはできません。

できるとすれば、その形を真似て真似て、時間をかけて文化に落とし込むところまでやり続け、習慣化することでしょうか。

根っこはデータに現れる。データは嘘をつきませんね。

教えて！

## 翻訳Q&A！



**Q:** 先日あるイギリス人との会話で、同じ週の土曜日の次の日に当たる日曜日のことを「今度の日曜日」という意味で"next Sunday"と言ったところ、その週末の日曜日ではなくて、その次の週の日曜日のことだと言われました。  
月や曜日の過去、現在、未来を表すのに"last/this/next"をどう使えばいいのでしょうか？

**A:** 結論から言うと、"week/month/year" には"last/this/next"を付けますが、曜日名や月名 (Sunday や May) には混乱を防ぐために"last/this/next"は付けません。

つまり、"next Sunday"や"last May"と言わないほうが無難です。

「今度の日曜日」は単に「on Sunday」といいます。

直近であれば過去でも未来でも、単に「on+曜日名」だけでかまいません。この間の日曜日も、今度の日曜日も、結局「on Sunday」だけでいいということになります。月の場合は「in+月名」となります。

### <曜日や月名を無難に使うためのルール>

**曜日名や月名の場合：** this/last/next は直前には付けない

**week/month/year の場合：** this/last/next は直前に付けても大丈夫

どうしても気になる場合は日付を使うのが無難です。

会話の相手が"this Sunday"とか"next Sunday"と言った場合、その日曜日のどの日曜日なのか不確かなら、相手に日付を特定してもらっても失礼には当たりません。実際、英語のネイティブスピーカーでも解釈が違っていることがありますから。

例：現在が12月だとします。そうすると「今年の5月」は "in May" になります。"I visited Kyoto in May."

ただし、「去年の5月」と言いたい場合は、混乱を避けるために "last year in May" または "in May last year" を使しましょう。

"I visited Kyoto last year in May."

HP にバックナンバーが掲載されています♪

## 『半年前のお出かけ』



## 技術者の呟き

エンジニアリング事業部・佐藤

- 最近はこのご時世で出かけることが少なくなりました。
- そこで今回は半年前に出かけたことをお話しします。
- 緊急事態宣言が解除された昨年6月、鎌倉でそば打ちを体験してきました。
- 外国人観光客のいない鎌倉は閑散としていて、お店はほとんど閉まっていた。その分、移動はかなり楽でした。
- そば打ち体験については半年前なので正直あまり覚えていませんが、そば粉がいい匂いだったこと、腰が痛くなったことは頭の片隅に残っていました。匂いや痛みは記憶に残りやすいのかもしれないね。
- そば打ちが終わった後、徳島名産のすだちがたっぷり入ったお蕎麦を美味しく頂きました。



## ニュースレター限定

## 営業マンのコラム『2021年始まりました』

コンテンツサービス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



2020年は新型コロナに始まり、振り回された1年でした。パンデミック騒ぎで自粛とリモートワークが世の中に浸透して、それによって停滞したこと、進化したことがいろいろとありました。弊社の業務的には進化したほうが多かったのではないのでしょうか。

まさに子供のころウルトラ警備隊がやっていたTV会議が現実のものとなり、より手軽に利用できるようになりました。ただし、その設備や知識がないとついていけないということはありません。

すね。新しいものに興味を持ち、トライする気持ちが必要です。幸い弊社はトップが新し物好きなので、急なリモート対応にも何とか追従できました。

一方、プライベートでは友人たちとの飲み会もなく、バンドのライブもできず、スタジオリハ(リハビリの方)もままならない状況が続いており、こちらはモヤモヤがたまるばかりです。早く気兼ねなく会食ができるようになってほしいものです。でも一人だと呑み過ぎないから逆に健康的なのかも・・・(汗)

## 社員の呟き

コンテンツサービス事業部 芝崎



みなさんは、ダブルレインボーをご覧になったことはありますか？  
ダブルレインボーは通常の虹に比べて、細かな条件がそろわなければ現れてくれず、現れている時間も数分と大変短いため、出ているにも気付かないことも多くあるようです。

海外でも、ダブルレインボーは通常の虹よりももっと縁起がいいとされています。  
11/7（土）自社勉強会の日の午後、そんなダブルレインボーを人生初で見ることができました。

（仕事によそ見をしていた訳ではないですよ・・・笑）誰かが気づいて声を出した瞬間、全員窓際に駆け寄って、ダブルレインボーの美しさに魅了されました♪  
こんなラッキーな虹に遭遇した私達は、今年も皆さまのお役に立てて幸せを共有できるのではないかと思います。  
何かお困りのことがございましたら、お声かけをいただければ幸いです。



ホームページの **お客様はインターネットの中に！**  
**英語版作成 と リニューアル**  
補助金や助成金が活用できます！コンテックスへご相談下さい！

コンテックス HP

下記 QR コードまたは

『技術翻訳  
コンテックス』で検索！

技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

株式会社コンテックス

Phone : 042-744-1080

e-mail : [tsd@kontecs.com](mailto:tsd@kontecs.com)URL : <http://www.kontecs.com>